

## 1. 基本的事項

### ◆ 基本理念

飲酒運転、暴力、虐待、自殺等の問題に関する施策との有機的な連携を図りつつ、アルコール健康障がいの発生、進行、再発の各段階に応じた防止対策を適切に実施し、アルコール健康障がいを有する者やその家族等が健やかな日常生活及び社会生活を送れるよう支援する。

(基本法※第3条) ※基本法とは、「アルコール健康障害対策基本法」をさす。

### ◆ 計画の位置付け

基本法第14条第1項に定める「アルコール健康障害対策推進計画」として策定する。

### ◆ 2期計画の期間

令和6年度から令和8年度までの3年間

	H28	H29	～	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	～	R12	R13
国基本計画	第1期			第2期			第3期			第4期				
大阪府計画	—	第1期 ※R3に中間見直し実施				第2期			第3期					

## 2. 現状と課題

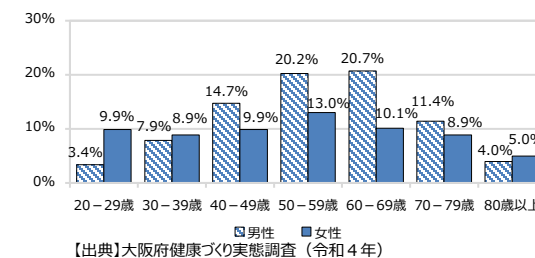
### (1) 大阪府のアルコール健康障がいをめぐる現状

➤ アルコール健康障がいをめぐる現状について、改善傾向にある項目もあるが、感染症拡大に伴う外食自粛等生活様態の変化等を考慮する必要があり、引き続き対策を推進する必要がある。

#### ① 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の状況

男性 13.6% 女性 9.6% (R4) 改善傾向  
 <参考(H30)> 男性19.6%(全国15.0%) 女性10.9%(同8.7%)>

■生活習慣病リスクを高める量を飲酒する者の割合 (年代別)



#### ② 妊娠中の者の飲酒状況

2.3% (R4) 増加傾向

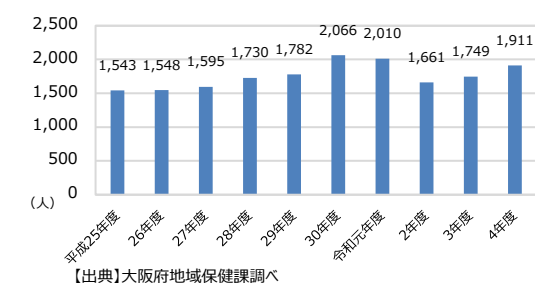
#### ③ 飲酒に起因する身体症状での救急搬送数の状況

総数 6,090件 (R4) 改善傾向  
 うち数 20歳未満 285件 20歳代 2,622件

#### ④ 保健所等における相談人数

1,911人 (R4) 増加傾向

■保健所等における相談人数



## (2) 第1期計画の目標達成状況及び課題

### ■ 第1期計画の目標達成状況

項目名	計画策定時の状況	目標値	現状値	評価
① 20歳未満の飲酒者をなくす	«中3» 男7.2% 女5.2% «高3» 男13.7% 女10.9% (H26年度、全国値)	0%	«中3» 男3.8% 女2.7% «高3» 男10.7% 女8.1% (H29年度、全国値)	未達だが改善傾向
② 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者を減らす	男17.7% 女11.0% (H26・27年度平均値)	男13.0% 女6.4%	男13.6% 女9.6% (R4年度)	未達だが改善傾向
③ 妊娠中の飲酒をなくす	1.7% (H27年度、参考値)	0%	2.3% (R4年度)	未達
④ 身体科・精神科医療機関とアルコール専門医療機関の連携を強化する (受講者数)	0人 (H28年度)	1,000人	817人 (R4年度)	概ね達成

### ■ 第1期計画の課題

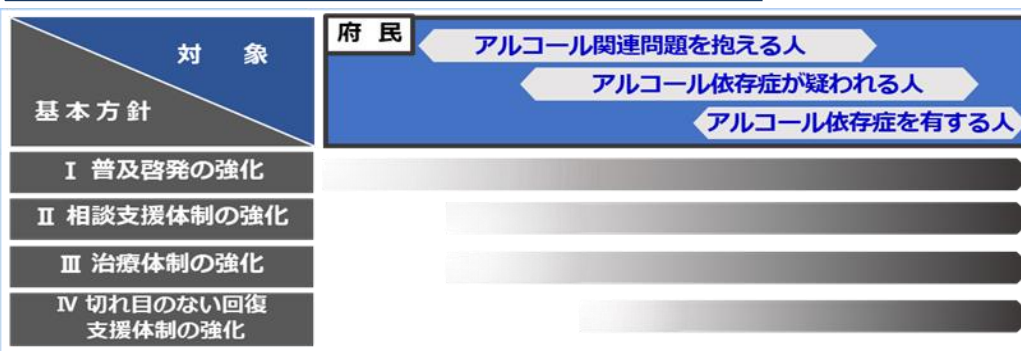
- 普及啓発** ➤ 特に配慮を要する20歳未満の者や妊産婦、女性、高齢者等の飲酒に関する啓発強化
- 相談支援体制** ➤ 若年層等、SNSの活用になじみがある人にも対応できるような相談体制の充実
- 治療体制** ➤ いわゆるトリートメントギャップの解消に向けた医療機関連携の強化
- 回復支援体制** ➤ 相談者数に占める自助グループ・民間団体等への紹介率や、研修・普及啓発事業に占める自助グループ・民間団体等と連携して取り組んだ事業の割合の向上

## 3. 第2期計画の基本的な考え方と具体的な取組み

### (1) 基本的な考え方

- 基本理念や現状・課題等を踏まえ、第2期計画では、新たに「I 普及啓発の強化」「II 相談支援体制の強化」「III 治療体制の強化」「IV 切れ目のない回復支援体制の強化」の4つの基本方針を設定。
- また、基本方針に沿って、9項目の取組施策ごとに指標と目標値を設定。(個別目標は2ページ参照)

### ■ アルコール健康障がいのリスクに応じた施策体系のイメージ



### ■ アルコール依存症が疑われる人等の推計

割合	参考推計値
アルコール依存症が疑われる人※1 ➡	2.9% 約22万人
アルコール依存症を有する人※3 ➡	0.2% 約2万人

<注釈>  
 ※1 アルコール問題スクリーニングテスト (AUDIT※2) で15点以上に該当すると推計される人 (直近1年間)  
 ※2 WHOが問題飲酒を早期に発見する目的で作成したアルコール問題のスクリーニング  
 ※3 WHOが定めた国際診断基準ICD-10に該当すると推計される人 (直近1年間)

【出典】 H30「アルコール依存症の実態把握、地域連携による早期介入・回復プログラムに関する研究」(AMED)

## <参考> アルコール関連問題等について

### ■ アルコール健康障がいとは

➤ 「アルコール依存症その他の多量の飲酒、20歳未満の者の飲酒、妊婦の飲酒等の不適切な飲酒の影響による心身の健康障がい」をさす。

### ■ 生活習慣病のリスクを高める飲酒について

➤ 1日当たりの純アルコール摂取量が男性で40g以上、女性20g以上をさす。

### ■ アルコール関連問題とは

➤ アルコール健康障がい及びこれに関連して生ずる飲酒運転、自殺等の問題をさす。

### ■ アルコールの身体への影響

➤ 長時間の多量飲酒は、アルコール依存症や生活習慣病のリスクを高め、さまざまな内臓疾患の原因となる。(右図参照)

